



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月5日

上場会社名 福山通運株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9075 URL http://www.fukutsu.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 小丸 成洋
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理・財務統括部長 (氏名) 佐藤 義宏 TEL 084-924-2000
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	214,809	△3.2	17,343	△2.0	18,489	△2.1	12,660	5.7
2020年3月期第3四半期	221,974	2.7	17,705	1.6	18,887	△2.9	11,975	△9.3

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 17,020百万円 (12.0%) 2020年3月期第3四半期 15,196百万円 (48.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	258.22	—
2020年3月期第3四半期	239.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	468,740	268,473	56.5	5,420.04
2020年3月期	448,329	256,138	56.3	5,109.31

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 264,694百万円 2020年3月期 252,487百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2021年3月期	—	25.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	285,000	△2.7	20,000	△2.6	21,200	△3.0	14,200	9.9	289.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	55,770,363株	2020年3月期	55,770,363株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	6,934,162株	2020年3月期	6,353,271株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	49,030,016株	2020年3月期3Q	49,907,548株

※株式付与E S O P信託口が保有する当社株式を、期中平均株式数（四半期累計）の計算において控除する自己株式に含めております（2020年3月期3Q152,807株、2021年3月期3Q151,956株）。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、自動車、生産用機械等の製造業を中心に回復の兆しがみられたものの、新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響下において、個人消費の持ち直しはみられず、依然として厳しい状況で推移いたしました。

貨物自動車運送業界におきましては、新型コロナウイルス感染症を背景にEC物流は拡大をいたしました。また、経済活動の縮小を受け企業間物流における貨物輸送量は低調に推移いたしました。

このような状況のもと当社グループにおきましては、強みとする国内配送とそれを補完する倉庫、輸出入サービスの提案など、各事業間の横断的な営業展開により取引先の拡大を図ってまいりました。また、業務の見直しによる自社化の推進と生産性の向上を図るとともに、新たな設備機器等の導入による一層の効率化を進めてまいりました。

以上の結果、売上高は2,148億9百万円（前年同四半期比3.2%減）、営業利益は173億43百万円（前年同四半期比2.0%減）、経常利益は184億89百万円（前年同四半期比2.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は126億60百万円（前年同四半期比5.7%増）となりました。

これらをセグメント別に見た事業の概況は次のとおりであります。

運送事業におきましては、企業間物流における貨物輸送量が落ち込むなか、新運賃「2020運賃」の届け出を行い運賃体系の見える化を図り収益力の向上を図るとともに、配送ルートや構内作業の見直しによる一層の自社化を推進し、生産性の向上に取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高は1,895億5百万円（前年同四半期比3.5%減）、営業利益は158億42百万円（前年同四半期比3.1%減）となりました。

流通加工事業におきましては、既存荷主の事業拡大と合わせ庫内作業の自社化と保管効率の改善により、既存施設の稼働率向上に努めてまいりました。

以上の結果、売上高は139億33百万円（前年同四半期比5.3%増）、営業利益は24億51百万円（前年同四半期比22.6%増）となりました。

国際事業におきましては、衛生品を中心とした輸入取扱物量の増加に伴い、通関事業は増加しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響による海上輸送の混乱から海外での運送事業やフォワーディング事業は大幅に減少いたしました。

以上の結果、売上高は56億59百万円（前年同四半期比11.7%減）、営業利益は1億66百万円（前年同四半期比51.4%減）となりました。

その他事業におきましては、外出自粛に伴い一部の商品販売は増加しましたが、総じて物品販売事業が振るわず低調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は57億10百万円（前年同四半期比2.5%減）、営業利益は16億62百万円（前年同四半期比17.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて204億10百万円増加し4,687億40百万円となりました。これは主に、現金及び預金や受取手形及び売掛金の増加などにより流動資産が140億57百万円増加したことや、投資有価証券の時価評価により投資その他の資産が増加し、固定資産が63億52百万円増加したことによります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて80億74百万円増加し2,002億66百万円となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金の減少などにより流動負債が55億92百万円減少しましたが、長期借入金が増加したことにより固定負債が136億66百万円増加したことによります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて123億35百万円増加し2,684億73百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加により株主資本が79億89百万円増加したことや、その他の包括利益累計額が42億17百万円増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年11月5日の「2021年3月期 第2四半期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想を修正いたしました。

今後の見通しにつきましては、経済活動は製造業を中心に回復の兆しが見られたものの、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が再発出されるなど、完全な回復には相当な時間を要するものと予想されます。

貨物自動車運送業界におきましては、生活様式の変化に伴いEC物流は拡大しているものの、経済活動の縮小を受け企業間物流における貨物輸送量は減少しており、引き続き厳しい経営環境が続くものと懸念されます。

こうしたなか当社グループにおきましては、引き続き収益力の向上を図るとともに、業務改革による生産性の向上に取り組んでまいります。

以上により、当第3四半期の業績と足元の状況を踏まえ、前回発表予想に対し売上高は43億円増加し2,850億円、営業利益は21億円増加し200億円といたしました。

2021年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 280,700	百万円 17,900	百万円 18,900	百万円 12,400	円 銭 252.73
今回修正予想 (B)	285,000	20,000	21,200	14,200	289.26
増減額 (B - A)	4,300	2,100	2,300	1,800	—

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,201	35,141
受取手形及び売掛金	40,490	45,318
その他	3,320	3,656
貸倒引当金	△93	△140
流動資産合計	69,919	83,976
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	250,370	252,928
減価償却累計額	△159,053	△162,933
建物及び構築物(純額)	91,316	89,995
機械装置及び運搬具	101,280	107,159
減価償却累計額	△80,327	△85,762
機械装置及び運搬具(純額)	20,952	21,396
工具、器具及び備品	14,458	14,769
減価償却累計額	△11,827	△12,255
工具、器具及び備品(純額)	2,630	2,513
土地	208,234	210,090
建設仮勘定	3,351	2,970
有形固定資産合計	326,486	326,966
無形固定資産		
その他	4,491	4,871
無形固定資産合計	4,491	4,871
投資その他の資産		
投資有価証券	41,289	47,053
繰延税金資産	3,367	3,019
その他	2,941	3,008
貸倒引当金	△166	△156
投資その他の資産合計	47,432	52,924
固定資産合計	378,410	384,763
資産合計	448,329	468,740

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,798	16,948
短期借入金	14,798	14,781
1年内返済予定の長期借入金	21,114	14,737
リース債務	26	26
未払法人税等	3,603	2,085
未払消費税等	3,474	4,928
賞与引当金	4,806	1,916
その他	15,812	19,416
流動負債合計	80,434	74,841
固定負債		
長期借入金	56,072	67,140
リース債務	48	31
繰延税金負債	6,795	9,366
再評価に係る繰延税金負債	23,688	23,685
退職給付に係る負債	23,593	23,691
関係会社事業損失引当金	87	46
資産除去債務	506	510
その他	966	952
固定負債合計	111,757	125,424
負債合計	192,191	200,266
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,310	30,310
資本剰余金	39,257	39,264
利益剰余金	155,094	165,296
自己株式	△19,562	△21,782
株主資本合計	205,099	213,088
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,029	18,085
土地再評価差額金	34,411	34,405
為替換算調整勘定	△9	7
退職給付に係る調整累計額	△1,043	△894
その他の包括利益累計額合計	47,387	51,605
非支配株主持分	3,650	3,779
純資産合計	256,138	268,473
負債純資産合計	448,329	468,740

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	221,974	214,809
売上原価	197,936	191,716
売上総利益	24,037	23,092
販売費及び一般管理費	6,332	5,748
営業利益	17,705	17,343
営業外収益		
受取配当金	1,037	1,050
受取保険金	493	170
補助金収入	229	62
その他	283	207
営業外収益合計	2,044	1,489
営業外費用		
支払利息	165	163
災害復旧費用	543	141
その他	152	38
営業外費用合計	861	344
経常利益	18,887	18,489
特別利益		
固定資産売却益	157	84
投資有価証券売却益	2	346
関係会社事業損失引当金戻入額	37	41
受取和解金	122	—
特別利益合計	319	472
特別損失		
固定資産売却損	2	5
固定資産除却損	156	181
減損損失	57	—
投資有価証券評価損	4	2
貸倒引当金繰入額	—	9
役員弔慰金	1,000	—
和解金	48	—
特別損失合計	1,268	198
税金等調整前四半期純利益	17,939	18,763
法人税、住民税及び事業税	4,749	5,032
法人税等調整額	1,095	978
法人税等合計	5,844	6,011
四半期純利益	12,094	12,751
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,975	12,660
非支配株主に帰属する四半期純利益	118	91
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,023	4,120
為替換算調整勘定	△47	△0
退職給付に係る調整額	126	149
その他の包括利益合計	3,102	4,268
四半期包括利益	15,196	17,020
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,116	16,884
非支配株主に係る四半期包括利益	80	136

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	運送事業	流通加工 事業	国際事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	196,474	13,236	6,406	216,118	5,856	221,974
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	6,426	6,426
計	196,474	13,236	6,406	216,118	12,283	228,401
セグメント利益	16,356	1,999	342	18,697	2,023	20,721

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸業、物品販売事業及び労働者派遣事業(委託業務)等を含めております。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	18,697
「その他」の区分の利益	2,023
全社費用(注)	△3,015
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	17,705

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない広告宣伝費及び各連結会社本社の管理部門に係る費用であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	運送事業	流通加工 事業	国際事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	189,505	13,933	5,659	209,098	5,710	214,809
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	5,869	5,869
計	189,505	13,933	5,659	209,098	11,580	220,678
セグメント利益	15,842	2,451	166	18,459	1,662	20,122

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸業、物品販売事業及び労働者派遣事業(委託業務)等を含めております。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	18,459
「その他」の区分の利益	1,662
全社費用(注)	△2,778
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	17,343

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない広告宣伝費及び各連結会社本社の管理部門に係る費用であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。